

丹後地域公民館だより

電話 0772-75-2111・69-0664 FAX0772-75-2006 平成19年11月発行 第7号

スサノオ 大蛇 (おろち) を退治する!!

京丹後市教育委員会が、人権教育事業の一環として取り組む、平成19年度京丹後市青少年芸術シアターが、10月29日(月)に、間人小学校体育館において実施されました。

「芸術シアター」は、京丹後市内の青少年が、良質の舞台芸術に触れる機会として、毎年取り組んでいるもので、本年度は丹後地域の他、網野地域でも取り組みました。

当日は、丹後地域の全小学生が、会場へ詰めかけ、約350名が人形劇の舞台に触れる機会となりました。

演目は劇団「デフ・パペット・シアター・ひとみ」の8名が、大型の人形を駆使し演

じる『わんぱくスサノオの大蛇退治』で、スサノオ(神様)が、下界(人間世界)で暴れる大蛇を退治する物語をユーモラスに描いたものでした。

演じる劇団員の中には、聾(ろう)者もおられ、台詞を台紙に表示したり、珍しい楽器を取り入れたりするなど、様々な表現方法によって、迫力ある舞台が展開されました。なかでも全長14メートルにも及ぶ大蛇が舞台に登場すると、見て



▲人形劇「わんぱくスサノオの大蛇退治」の一場面

いた小学生たちは、大変に盛り上がり、神話の世界へと引き込まれている様子でした。

劇を観た、佐竹初音さん(宇川小5年)は、「セリフの少ない劇でしたが、身ぶりや、手ぶりで、わかりやすかったです。最後に、スサノオが、大蛇と戦う時すごく迫力がありました。」と感心していました。

染色体験教室も好評でした



▲参加者の方々と作品

9月27日(木)から3回で、「染色体験教室」(草木染体験)を実施しました。参加者は16名で、指導には、今井淳一郎社会教育指導員があたりました。ハーブ、ヨモギ、萩、ベニバナなどを使い、ハンカチやバンダナ(木綿、絹生地)などを染め上げました。参加者からは「思いのほか楽しく、染料から自分で作ってみたいと思いました。」との感想がありました。

作品展を実施しました

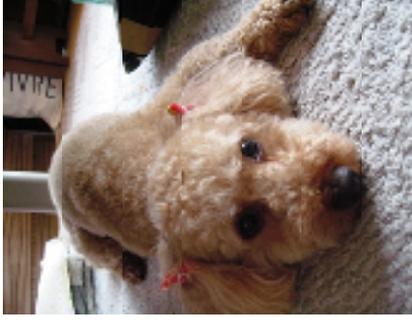


▲丹後町文化作品展の様子

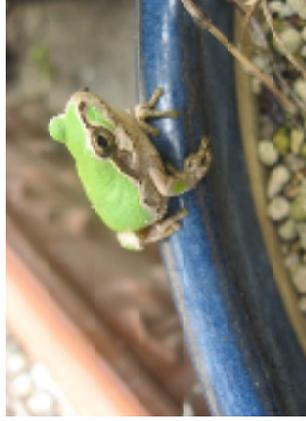
11月10日(土)~11日(日)の2日間、「丹後町文化作品展」を実施しました。町域の保育所幼児から、小中学生、高校生の作品の他、公民館主催で実施した「デジカメ講座」、「染色体験教室」での作品とあわせて、作品数計437点を展示しました。期間中は多くの人に見ていただくことができました(「デジカメ講座」の作品は裏面に掲載しましたのでご覧下さい)。

トシカメ講座写真集

(敬称略)



▲「愛犬きなこちゃん」 東恵美子



▼「きなこちゃん」 上野千賀子



▲「朝日」 上岡千賀子



▼「陽輝」 石田佐保子



▼「衣敷山の秋」 宇都弘子



▼「東北の秋」 上野千賀子



▲「衣草え」 酒井美苗子



▲「はあっ」 小田さやか (久美浜)



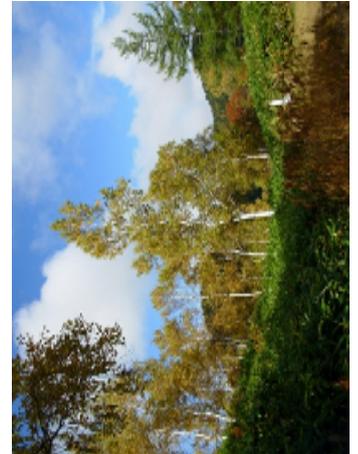
▼「しほり」 岡田千賀子



▼「？」 金久八重子 (総菜)



▼「灯の道」 豊田昌子



▼「幻想」 下岡好子



▼「花の庭」 瀬野千代美



▼「ぼんぼん...」 田舎美子



▼「阿人の祭り」 中江美由子



▼「祭りの」 山崎みゆ子 (総菜)